

第4回ユニバーサルなスポーツ施設検討会主な発言

日時：令和6年10月11日（金）14:00－15:30

場所：兵庫県庁2号館5階「庁議室」

出席委員：7名（欠席3名：対面7名）

4 議事(1)第3回検討会の結果について (2)県内スポーツ施設への支援方策について

<主な委員発言：進行 増田和茂座長(県障害者スポーツ協会理事長)>

【増田座長】

- ・前は玉津の障害者スポーツ交流館を見ていただきました。屋外に避難通路があったと思います。私は建設の時に関わっていたのですが、当初は屋根をつける構想でしたが、予算の関係でできなかったという経緯があります。
- ・このように、なかなか理想の施設にしていくのは予算の関係など難しい面もある中で、今後、障害者が増える、高齢化も進むだろうというような状況でどうしていくべきか、以前に東京都の障害者のスポーツ施設利用促進マニュアルを皆さんにご紹介いただいた笠本委員いかがでしょうか。

【笠本委員】

- ・私が以前に紹介させていただいた東京都のマニュアルは、ソフト対応を具体化していて、障害種別毎の対処を公的施設、民間施設に関わらず見える化している冊子で、どこにでも配れるようにされていました。
- ・やはり私としては、ソフト対応が非常に重要だと感じています。

【柳委員】

- ・マニュアルという話の中では、バリアフリー法のマニュアルというものがあります。こういったものに、最新の具体事例を少しずつ増やしていけば良いのではないかと思います。
- ・一方で、兵庫県としては、あまり考え方ということよりは実際に利用する側の反応を踏まえて、県内施設の具体事例についてマニュアルとして用意することがいいのではないかと思います。

【増田座長】

- ・2回目の検討会で視察した磯上体育館ですが、あそこは最新で綺麗な体育館でしたが観覧席が無かったですね。玉津の障害者スポーツ交流館は古いですが、観客席はあります。大きな大会やイベントをする際の棲み分け、調整はどのようにするのが理想でしょうか。

【青山委員】

- ・全ての施設で観客席をつけるのは難しいと思います。観客席の無い施設でもイベントをする機会はあると思いますのでどうフォローするかが大事だと思います。イベントによつての施設の棲み分けは必要だと思います。

【増田座長】

- ・知的の方への対応という面ではいかがでしょうか。

【柴崎委員】

- ・ハード面というところで、視察した磯上体育館はお手洗いや更衣室など最新の施設でしたが、知的の人から見るとスタイリッシュすぎて少し表示がわかりづらいなと思いました。
- ・ソフト面では、知的の大会などは玉津の障害者スポーツ交流館で実施しているのですが、やはり障害者スポーツ交流館だとスタッフに障害の理解があるから安心してできるんですね。民間の施設では、やはり一般の利用者に気をつけ

ないといけないということがありますので、研修などで障害の理解がもっと進めばいいなと思います。

【増田座長】

- ・笠本委員からは、以前に施設内のサインについての問題提起がありました。

【笠本委員】

- ・現地視察に行った際には、民間のコナミはやはりお客目線で分かりやすいなと感じましたので、こういった視点は公共施設においても見習える点で、重視して欲しいなと思いました。

【柴崎委員】

- ・知的の方の意見からすると、サインは色で分けてもらおうと分かりやすいようです。トイレでも、だいたいの施設が男性が青、女性が赤の表示となっていて、形よりも青、赤で見分けているようです。

【増田座長】

- ・音声や点字の部分ではいかがでしょうか。

【笠本委員】

- ・知的障害の方のサインの分かりやすさは、視覚障害とも共通する部分が大いのかなと思いました。色、形の分かりやすさが大切ですね。公共施設・民間施設にかかわらず重要だと思います。
- ・視覚障害の人は音をよく聞いています。私の場合は、音や、色でトイレのサインを見つけることが多いです。弱視や視野狭窄の人は色で分かる方が多いと思いますが、色弱の人は色が識別しづらい方がいらっしゃるので形も重要です。赤が苦手な人・青が苦手な人など人にもよりますので、サインの形が分かりやすければよいのかなと思います。色弱についてはあまり詳しくないので、専門家の方に意見を聞いてみたいです。

【増田座長】

- ・利用者であるお客へのサービスの質を保つという部分では奥山委員いかがでしょうか。

【奥山委員】

- ・私は、市の施設で運營業務に携わっていますが、磯上体育館を見て同じ市の施設でこうも違うのかと衝撃を受けました。今の時代の施設はこういうもののだと勉強になりました。
- ・弊社が運営する神戸市の施設は1つのフロアでフルフラットになっているのは、移動の面ですごくいいことだなと思うのですが、私どもがこのようにしたいと思っても、市の条例がルールで壁になってしまうこともあります。
- ・弊社が運営する神戸市の体育館では、バレー3面、バスケ3面がとれるのですが、市のルールで、平日は1/3を市民開放する必要があるのですが、何か大きなイベントとかで全部を貸し出しすることが原則できません。
- ・あとは、週末は予約が混むのですが、公共施設なので兵庫県や神戸市が副申等申請があれば優先して使用できますが、そうでないと予約が取りづらいということもあります。

【久保委員】

- ・障害によって、いろいろな見方があると思います。磯上体育館は導線に工夫がされていましたが、人によっては入口に来て中が分かりにくいという意見もあります。
- ・UD化で私が思うのは、トイレは普通は男性は男子用、女性は女子用になっていますが、車いす利用者の車いす対応トイレは男女関係ない方が使いやすいです。

【増田座長】

- ・ハード面の話が続きましたが、ソフト面でのご意見はいかがでしょうか。

【青山委員】

- ・玉津の障害者スポーツ交流館の視察の際に、ソフト面で正規職員の枠が少なく、非正規にはなり手が少なく困っているという話がありました。
- ・人が足りないという部分では、有償インターンで若い世代のマンパワーを取り入れるという工夫もできるかと思います。

【柳委員】

- ・案内の内容を分かりやすくするという意見がありましたが、分かりやすさという点では、表示の明るさや中の文字と背景を明確にするということが良いのではないかと思います。
- ・例えば、条例や制度の中で示すことで分かりやすくできるのではないかと思います。色弱の方は色づけではなく、明るさで区分することなど、具体的な対応事例について、対応する側が、分かりやすさ、使いやすさ、入りやすさを示していくことが大事ではないかと思います。

【柴崎委員】

- ・やはり職員の方の障害への理解を深めることが一番大事なかなと思いました。

【増田座長】

- ・最近、公的施設も持ち主は公共だが、運営は民間という状況になっています。運営側の民間の人達は障害特性のことなどはあまり分からないのですね、ソフト面の充実を図りたくても、どこに手を出していけばいいのか分からないのが実情だと思います。このあたり奥山委員いかがでしょうか。

【奥山委員】

- ・指定管理を10年以上やっておりますが、ノーマライゼーションを軸に、皆が楽しむことができ交流できる施設を目指してやってきました。
- ・民間企業としてスポーツ施設の運営に携わってきましたが、障害者スポーツはやったことのない領域で、請け負った当初は右も左も分からない状況でした。
- ・ただ、しあわせの村は神戸市の施設で、障害福祉に通じた市職員の支援があってやってこれたということがあります。これが別の施設では、対応は難しかったらと思う。まず、どこに問い合わせたらいいのかというところから苦労があったと思います。
- ・研修という部分ですが、やはりタイミングをずらして回数を多くして欲しいなということはある。週末に偏ってしまうと、施設も混み合っただけでスタッフを出しにくいので、時期に留意してもらえれば参加しやすいです。

【増田座長】

- ・介助の問題など、プールでのソフト面はいかがでしょう、笠本委員。

【笠本委員】

- ・福祉センタープールなど、障害への知識・理解がある施設は、入退水介助の経験があるスタッフがいたので、心配はあまりないですが、一般の施設ですと介助経験がない方がほとんどだと思います。経験がないと、介助される側も介助する側も、安全面での不安があります。
- ・日本パラ水泳連盟の水泳指導員初級資格の講座では、入退水介助の講習がありますので、ぜひ受講していただくか、兵庫版の介助資格などあればうれしいなと思います。

【増田座長】

- ・その他、何かご意見はありますか。

【久保委員】

- ・玉津の障害者スポーツ交流館には、前回の意見交換でいろいろとお伝えさせて

いただきましたので、今回は控えます。

- ・車いすバスケットは一般の体育館の利用は考えてないのですね。床に傷が入ったとかでトラブルになりやすいんです。
- ・神戸市の障害者体育館で駐車場を利用したときの話なのですが、ここが一番近いところを障害者専用に使っているのですが、職員や歩ける障害者の人はここを利用する必要はないと思うのですが、たびたび車いす利用者でない人がとめているのを見かけました。
- ・たびたびだったので、私も施設に伝えたりして、優先の貼り紙もしてもらいました。それでも無視されていたので、私からも本人に丁寧に説明し、利用をやめてもらおうとしましたが、いくら言ってもダメでした。それ以降は関わらないようにしています。
- ・こうなってくると声をあげてもらうには役所をお願いするしかないかなという状況になります。

【増田座長】

- ・施設に駐車場があるかないかは大事な話ですね、障害者スポーツ交流館はゲートはないですが、そのあたり何か思うところはありますか。

【久保委員】

- ・この駐車場は、平日は病院関係の一般の人が停めたりしていますね。

【増田座長】

- ・屋根なんかも大きな要素ですか。

【久保委員】

- ・屋根はあった方がいいですが、古いところはあまりついてないですね。ゲートもあった方がいいです。健常者がたくさん入ってしまうので。

【増田座長】

- ・それなりの施設になると障害者の理解があって受け入れも進むのかなと思います。
- ・あと、利用料金の話もありましたが、どこまで配慮するのがいいのでしょうかね。

【青山委員】

- ・これは非常に難しい問題ですね。海外ですと、ヨーロッパ、アメリカですが、健常者、障害者の区別なく同じ扱いにするのがトレンドです。本人は一般料金だけれども介助者は無料にするとか、そのような扱いになっています。
- ・日本だと区別無しというのは難しいかもしれませんが、障害者の一部免除はある方がいいのかなという気はしますが、介助者は海外同様無料にすべきですね。

【笠本委員】

- ・障害者の利用料金ですが、期間限定での無料は良いと思いますが、常に無料というのは良くないかなと思っていて、本人は半額でも支払うということは大事だと感じています。介助者を無料にすることには賛成です。民間施設は現在、介助者も会員になって全額支払わないといけないというハードルがありますが、民間施設で介助者の無料・減免等の制度や配慮がもっと広まれば良いなと思います。
- ・施設職員や指導者の研修・資格取得の話や障害者スポーツ施設職員数が減っているという話から、指導者も選手と同じようにモチベーションが必要だと感じました。障害者スポーツ関係の資格をとれば、給与UPしたり、全スポや国際大会等大きな大会に参加できるといった、モチベーションにつながるものがあってほしいです。給与面・活躍の場は大切です。どんどんパラスポーツの現場で活躍できる環境になれば良いなと思います。

【増田座長】

- ・民間施設にもパラスポーツの指導者資格を持っている人もいると思いますが、

そのあたり奥山委員いかがでしょうか。

【奥山委員】

- ・民間でも資格を持っている人はいますが、給与は安いと思います。モチベーションという話も出ましたが、これは非常に大事だと思います。
- ・私どもの施設にも日赤の資格を持った職員がいますが、給与とは別で手当を出しています。そういうところで今後パラスポーツを考えていくことも可能ではないかと思います。

【増田座長】

- ・障害の種別で対応する必要があるとか、インストラクターも高齢化ということもありますよね。

【奥山委員】

- ・私どもの施設でも、トレーニングルームには若い指導員を配置していますが、そのお陰か稼働率もあがったり、お客様から指導にあたり指名されたりして、本人にはモチベーションになっているのではないかと思います。

【増田座長】

- ・いろいろなご意見をいただきましたが、UD化という議論の中で、大きな目的は、障害者に使いにくいとされている施設をどうするのが良いかということかと思っています。
- ・昔聞いた話ですが、大阪のスポーツ施設で利用者の内訳をみたら大阪市民よりも西宮や尼崎の市民が多いという話がありました。新施設という議論をしていくのであれば、利用者の数字の分析ということも一定程度必要になってくるかと思いました。他に委員の皆さまからあればお願いします。

【青山委員】

- ・競技別の拠点という話ですが、競技団体や障害者団体ともうまく連携していく必要があるかと思っています。

【柳委員】

- ・モデル事例集という話がありましたが、どういうふうになされていくつもりか教えてくださいませんか。

【事務局】

- ・障害者の方がスポーツ施設を利用するときに最低限必要となる駐車場、スロープ、トイレ、エレベータ、更衣室、案内表示について、現状でUD化が進んでいない施設に、例えば、好事例である県立障害者スポーツ交流館のトイレをあてはめるところなるというものをPCのデータ上で行っていくことをイメージしています。
- ・UD化されていない施設のビフォー・アフターを施設関係者の誰も見れるよう、データ上でモデルとして示していきたいと考えています。

【増田座長】

- ・その他、ご意見あればお願いします。

【笠本委員】

- ・拠点の話の中で、尼崎スポーツの森のプール競技についてありましたが、この施設は観客席もあって大会等を実施するのに非常に良い施設だと思います。
- ・現在、兵庫県のじぎくスポーツ大会や神戸市障害者スポーツ大会の水泳競技に関しては、観客席がなく少し閉鎖的な開催になってしまっています。観客席が多いと、よりいろんな人に見てもらえることができるので、尼崎のような施設で新たに大会や練習会をおこなうことも、非常に大切だと思っています。

【久保委員】

- ・障害者スポーツ交流館ですが、障害者の利用が非常に多いです。スタッフも充実していて、もっとパラアスリートに利用してもらいたいですね。やっぱり、

新しい体育館を作っていただいて、もっとパラスポーツを盛り上げてもらいたいですね。ぜひお願いします。

【増田座長】

- ・スポーツ施設に限らず、施設というものはいずれ老朽化して使えなくなりますね。今後、障害者スポーツ交流館が使えなくなった場合の代替をどうするかということは、今後の議論の中で考えていく必要はありますね。
- ・今年の世界パラ陸上やパリパラリンピックがありました。2025年の東京でのデフリンピック、2026年の愛知のアジアパラ競技大会と大きな大会がありますのでどういう競技が正式種目になっていくのか、先を見通して強化していく必要がありますね。
- ・以上で、本日予定の議事は終了となりますが、本日事務局から説明のあった来年度に向けた支援方策については、概ね事務局からご提案いただいた内容で今後予算要求等進めていただくことでよろしいですか。

<異議無し>の声

- ・ありがとうございました。それでは事務局にお返しします。

【事務局】

- ・本日は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後の検討会の予定につきましては、今後、令和7年度予算要求に臨みまして、その結果等を受けた来年度の施策について、来年3月に第5回検討会を実施させていただく予定でございます。委員の皆さまにおかれましては、引き続きのご支援をよろしく願いいたします。

以 上